ハンガリーの楽団で活躍

那覇市出身 ベルケシュ・亮子さん

20日に凱旋演奏会

クラシック音楽が盛んな東欧ハンガリーの管弦楽団でバイオリン奏者として活動する県出身者がいる。那覇市出身のベルケシュ（旧姓・砂川）亮子さん（47）だ。クラシック音楽に詳しいカノン友の会によると、欧州の楽団に所属する県出身者は珍しい。亮子さんは所属するジュール・フィルハーモニー管弦楽団の団員約80人と来沖し、20日午後4時から西原町のさわふじ未来ホールで公演するほか、19日は母校の那覇市立松島中学校で交流演奏会を開く。

ふるさとの沖縄で初めて公演するバイオリン奏者のベルケシュ亮子さん（右）と夫で指揮者のカールマンさん＝7月、琉球新報社

亮子さんがバイオリンを始めたのは6歳の頃。母親はピアノ教師で幼い頃から音楽に親しんできた。松島中、開邦高校芸術科音楽コースを卒業後、3年の浪人をへて武蔵野音大に進学した。在学中の1996年、ハンガリー人のバイオリニストから演奏を評価され、卒業後にハンガリーに留学し、技術や表現法を学んだ。

その後、楽団の指揮者であるベルケシュ・カールマン氏と結婚した。約7年前、日本からハンガリーのジュール市に移り住み、プロの管弦楽団ジュール・フィルに在籍している。

ジュール・フィルは創立125年を誇る。「経験を積んだ人たちと弾く機会はとても充実している」とやりがいを語る。

沖縄での初公演は、親戚やクラシックが好きな有志が実行委員会を結成し、実現した。当日はドボルザークの交響曲第9番「新世界より」など3演目を演奏する。「いつの日か生まれ故郷の沖縄で公演できたらどんなに素晴らしいかと考えていた」と心待ちにしている。

松島中での交流演奏会に向け、音楽の道を志す後輩たちに「できるまで何度でも挑戦する忍耐力が必要とされる。練習中には『熱い心で、でも冷静に』を心掛けて」とエールを送る。

チケットの問い合わせはカノン友の会の新垣さん☎090（5733）4071。島ピアノセンター、普久原楽器でも販売している。

（高江洲洋子）

「手厚い支援を」

知事視察に要望

宜野湾、アメラジアン校

ンスクール・イン・オキナワ」を視察した＝写真。同校には幼稚園から中学生まで71人が通う。玉城知事は体

て。野入直美代表理事代行は、子どもを通わせたいとの保護者からのニーズが多い一方で寄付金に頼って運

正しい筋トレを

谷本氏実践指導

那覇市、健康づくり催し

「健康づくりライブトーク2019」（県保健医療福祉事業団主催）が6日、那覇市のロワジールホテル那覇であった。NHKの「みんなで筋肉体操」などで知られる近畿大学生物理工学部人間環境デザイン工学科の谷本道哉准教授が登壇し、筋力と健康との関係や正しい筋力トレーニングの仕方を指導した。

谷本准教授は、脚の筋力が低下すると、年を取った時に膝の曲げ伸ばしがしづらくなり、健康を害することから「老いは足元からやってくる」と指摘。歩行速度が速いほど10年生存率が高いというデータなどを示しながら「高齢者でも負荷をかけた筋トレが必要」と訴えた。

谷本准教授は脚と尻を鍛えるスクワットやいすに座ったままできる腹筋の正しいやり方を指導＝写真。参加者は「自分を甘やかさない」などとげきを飛ばされながら体を動かした。那覇市の大宜味マサ子さん（79）は「少しずつ自宅で筋トレしているが、やり方が間違っていた。100歳まで自力で歩けるよう、頑張りたい」と話した。

石嶺小の5年生

新聞の特徴学ぶ

本紙が出前講座

琉球新報の記者が学校を訪れ、新聞の特徴や役割を

6 7日
3 37 43
30
,500円
2口
,500円
3口
ーナ

注意！
「当せん番号を事前に教える」と持ち掛ける詐欺多発。当せん番号は掲載前日に発表済みです。